

“厳寒の冬”こそ熱く滾る秋田の『冬まつり』!

令和6年新年号

1月 令和6年 カレンダー(月-日版)

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

新年明けましておめでとうございます。『あきたじん』共々全国の皆様にとって、実りある1年になりますよう祈念しております。
秋田は雪の季節になりましたが、新年号は厳寒の時期に県内で繰り広げられるまつりとイベントを特集しました。秋田の底力が最も強く発揮されるこの時期、是非ご家族・ご友人と共に秋田へお越しください。

2月 令和6年 カレンダー(月-日版)

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

1月27・28日(土・日)・大館市
『第40回比内とりの布』



秋田が誇る比内鶏と全ての食鳥の靈に感謝する儀式で、単に食のイベントではありません。全国でも例をみない奥深さ。

1月2日(火)・鹿角市大日靈貴神社
『大日堂舞祭』



秋田県最古、1300年の歴史を誇るユネスコ無形文化遺産。五大尊舞、権現舞等の舞を四集落が社殿で奉納します。

2月10・11日(土・日)大館市
『大館アメッコ布』



『この日にアメを食べると風邪をひかない』神様がアメを買いに来るといって「白ひげ大神巡行」や「秋田犬パレード」も行なわれます。

2月17日(土)・北秋田市阿仁合駅周辺
『第18回スノーキャンドルストリート in あに』



阿仁合保育園児や各中学生・住民が作る様々なキャンドルの幻想的風景。



2月2日(金)-2月25日(日) ※火・水定休
『第26回十和田湖冬物語』



秋田・青森・岩手の北東北三県の芸能を披露する冬の国境祭りや冬花火、4年振りに屋台村「雪灯り横町」も復活して賑やか。

2月4日(日)・にかほ市金浦山神社
『掛魚(かけよ)まつり』



別名「タラまつり」、奇祭の一つとも言われ大タラを荒縄に吊り下げて神前に供える。この季節のたら汁は何とも言えない美味。

1月17日(水)・太平山三吉神社総本宮
『三吉梵天(ぼんでん)祭』秋田市



梵天祭は秋田県固有の特殊な神事、「力の神」三吉霊神にあやかろうと奉納の先陣を争う勇壮な力漲る祭りです。

2月1日(木)・北秋田市内各神社
『厄払い祈願祭』



今年の大厄に当たる年齢の男女が厄除け祈願。女性は特に黒留袖に丸鬘の伝統的作法で玉串を捧げ、その後目抜き通りを行進します。

※各画像をクリックすると専用サイトが表示されます

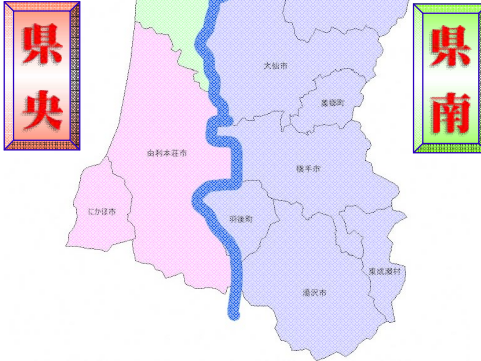


『あきたじん』ウェブサイトのご相談は TEL. 018-860-1232
あきた未来戦略課 FAX. 018-860-3870
県人会担当 小松・長瀬まで E-mail. akitajin@mail2.pref.akita.jp

“厳寒の冬”こそ熱く滾る秋田の『冬まつり』!

令和6年新年号

※各画像をクリックすると専用サイトが表示されます



2月9-11日(金-日)・男鹿市真山神社 『第67回なまはげ紫灯(せど)まつり』



900年以上前から毎年1月3日に真山神社で行われている神事「柴灯祭」と民俗行事「なまはげ」を組み合わせた冬の観光行事。

1月15日(月)・横手市金屋地区他 『横手のたいまつ焼き』



江戸時代から300年以上も続く伝統で、旧太刀金地区の刀鍛冶、旧金矢地区の弓職人が火の神様を参拝していました。

2月10日(土)・大仙市刈和野 『刈和野の大綱引き』



室町時代からの伝統という日本最大級の大綱引き。町内が上町・下町に分かれて勝負する古式溢れる迫力満点の行事。

2月10日(土)・仙北市西木町 『よ捨ホ内の紙風船よげ』



和紙を貼り合わせた最大12メートルもの紙風船が夜空を舞い幻想的な光景に。その年の願いを込めて打ち上げる。

2月11日(日)・大仙市花館地区雄物川 『川を渡るぼんでん』



160年以上前、伊豆山神社に奉納するには舟で川を渡るしかなかったという、伝統行事の名残を今も受け継ぐまつり。

2月10-11日(土・日)・湯沢市 『犬っこまつり』



犬っこまつりは約400年もの長い間続くといわれる湯沢地方の民俗行事。雪で犬っこ神社やお堂を作り「愛犬祈願祭」も。

2月14日(水)・仙北市角館町内各所 『角館の火振りかまくら』



約1メートルの縄を結んだ炭俵に火を付けて自分の体のまわりで振り回す。大きな炎が華麗な火の輪となり、夜を彩る。

2月13-17日(火-土)・美郷町六郷 『六郷のカマクラ行事・竹うち』



初日の蔵開き・天筆書初めから最終日の竹うち・天筆焼きまでの計5日間にわたる催しで、古来からの姿を伝承しています。

2月15-16日(木・金)・公園ほか 『横手のかまくら』



450年の歴史がある小正月の伝統行事。市内にかまくらが約60基作られる。地元の子ども達達が「はいってたんせ」と声をかけ、かまくらへ招き入れる。振る舞われる甘酒やおもちなどで温まろう。

2月16-17日(金・土)・横手市役所前ほか 『横手のぼんでん』



「梵天(ぼんでん)」とは神霊が降臨するための標示物・依代(よりしろ)。16日は出来栄を競う「梵天コンクール」翌日は「旭岡山神社梵天奉納祭」が行なわれる。梵天が終わると横手にも春が来る。